

2020年度事業報告書[法人第8期]

(2020年10月1日～2021年9月30日)

1. 庶務報告

i) 会員数 (2021年9月30日現在)

正会員 1,691 / 名誉会員 14 / 功労会員 34 / 賛助会員 13 (合計 1,752)

ii) 会議開催実績

2020年度 定例理事会

第1回 2020年12月6日 (東京慈恵会医科大学新橋校2号館1階講堂「第1会場」)

第2回 2021年2月26日 (株式会社国際文献社4階「会議室」※ZoomによるWeb会議)

第3回 2021年5月28日 (株式会社国際文献社4階「会議室」※ZoomによるWeb会議)

第4回 2021年9月17日 (株式会社国際文献社4階「会議室」※ZoomによるWeb会議)

第7回 定時社員総会・表彰式

2020年12月5日 (東京慈恵会医科大学新橋校2号館1階講堂「第1会場」)

認定制度委員会

2020年11月18日 (ZoomによるWeb会議)

2021年5月22日 (ZoomによるWeb会議)

2021年8月7日 (AP品川アネックス1階「Dルーム」)

保険委員会

2021年9月2日 (ZoomによるWeb会議)

2. 年次学術大会

日本性感染症学会 第33回学術大会

会 期: 2020年12月5日(土)～12月6日(日)

<オンデマンド配信期間>2020年12月15日(火)9:00～12月22日(火)17:00

会 場: 東京慈恵会医科大学新橋校

会 長: 石地 尚興 (東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座 教授)

参加人数: 698名 (一般(一次申込)562、一般(二次申込)112、研修医・学生(一次申込)19、
一般研修医・学生(二次申込)2、当日受付3)

プログラム: 会長講演1企画、教育講演1企画、シンポジウム5企画(内2企画が卒後・生涯学習プログラム対象)、
ミニシンポジウム4企画、共通講習2企画(日本専門医機構専門医共通講習)、一般演題プレナリーセッション5題、
Webセミナー1題、スポンサーセミナー7企画、認定士への集い1企画、一般演題29題

閉会後開催: 第349回ICD講習会

3. 学会誌「日本性感染症学会誌」発行

第31巻第2号: 2020年11月26日発行 (第33回学術大会 抄録号: 第33回会長担当)

4. 各委員会活動

1) 学会誌編集委員会 (安田 満 委員長)

日本性感染症学会誌 第32巻第1号発刊作業(電子版のみ)

転載要領と転載許可願いの改定

複写要領の制定

学術著作権協会との委託契約

掲載論文の「要旨」を医中誌Webにおける利用依頼の検討 (医学中央雑誌刊行会より依頼)

追悼文の掲載有無についての検討

2) ガイドライン委員会 (高橋 聡 委員長)

「性感染症 診断・治療ガイドライン 2020」の発刊 (発刊日: 2020年12月28日)

3) 利益相反委員会 (笹川 寿之 委員長)

「COI自己申告書」提出対象者への提出依頼

- 4) 倫理委員会 (重村 克巳 委員長)
「医療倫理」の講習会開催 (第33回学術大会の共通講習にて)
学会HPへ「研究における倫理審査について」の掲載
- 5) 学術奨励賞選考委員会 (渡辺 大輔 委員長)
日本性感染症学会誌第32巻第1号に掲載論文の中から2020年度学術奨励賞受賞者を以下2名とし、2021年11月27日第8回定時社員総会の表彰式において賞状楯および副賞(15万円×2名)の目録を授与予定。
なお、副賞総額30万円のうち10万円は公益社団法人 性の健康医科学財団より寄附。
・水戸部 森歌 (東京都健康安全研究センター 微生物部)
「都内MSM専門外来患者における *Mycoplasma genitalium* のマクロライド耐性、キノロン耐性遺伝子変異の検出結果と抗菌薬治療状況」
・高橋 杏子 (山形大学医学部 産科婦人科学講座)
「クラミジア感染症が卵管性不妊患者に対する子宮鏡下選択的卵管通水法と腹腔鏡下手術の臨床成績に与える影響」
- 6) 認定制度委員会 (余田 敬子 委員長)
委員会の開催 (2020年11月18日 ZoomによるWeb会議)
委員会の開催 (2021年5月22日 ZoomによるWeb会議)
試験前講義の実施 (2021年8月7日 AP品川アネックス 1階「A+Bルーム」) ※認定士試験受験者のみ対象
委員会の開催 (2021年8月7日 AP品川アネックス 1階「Dルーム」)
認定試験の実施 (2021年8月7日 AP品川アネックス 1階「A+Bルーム」)
- 2020年度認定医試験・認定士試験および更新申請書類審査結果
- | | |
|-----------|---|
| 新規 | 認定医試験 受験者 12名 / 認定士試験 受験者 10名 (受験者全員合格) |
| | [認定医] / [認定士] |
| 更新 | 資格更新対象者 51名 / 5名 |
| | 更新申請書類 提出 44名 / 5名 (全員更新承認) |
| | 更新延期願 提出 4名 / 0名 (全員更新延期承認) |
| | 更新辞退 0名 / 0名 |
| | 資格喪失(未提出により) 3名 / 0名 |
- 次年度の試験に向けた新しい試験問題の作成
試験当日のタイムスケジュールおよび注意事項、遅刻・退出可能時間についての検討
認定士の呼称についての検討
認定士の受験条件の基準の見直し
認定制度規則の改定
受験辞退者の対応についての検討
- 7) 梅毒委員会 (斎藤 万寿吉 委員長)
学会における梅毒関連業務の対応
- 8) 教育啓発委員会 (野々山 未希子 委員長)
「厚生労働科学研究費補助金学会 三鴨班」の活動報告の発表 (第33回学術大会の一般演題プレナリーセッションにて)
コロナ時代のセックスに関する性感染症予防啓発ポスターもしくはリーフレットの作成の検討
- 9) 国際渉外委員会 (濱砂 良一 委員長)
関連国際学会との連携対応
- 10) 会則検討委員会 (高橋 聡 委員長)
各規則の内容の精査および改定案の検討
- 11) 広報・ホームページ委員会 (大西 真 委員長)
バナー広告申込書の審査および審査とのバナー掲載 (1社: 積水メディカル株式会社 継続掲載)
広報およびホームページ関連業務の対応
- 12) 支部の在り方検討委員会 (安田 満 委員長)
支部運営の状況把握と見直しの検討
- 13) Stop!梅毒プロジェクト委員会 (四柳 宏 委員長)
「FUSEGU2020 プロジェクト」への参加
- 14) 保険委員会 (高橋 聡 委員長)
委員会の開催 (2021年9月2日 ZoomによるWeb会議)
一般社団法人 内科系学会社会保険連合(内保連)への加盟申請に向けた委員会の開催
- 15) 郵送検査に関する検討委員会 ※アドホック委員会 (川名 敬 委員長)
委員会の新設 (産婦人科、泌尿器科、基礎系、看護、行政に属するメンバーで委員を構成し、郵送検査に関する課題などについて検討)

5. 関連学術団体との連絡・協力

- 1) 日本性科学連合[JFS]
例年10月ころに開催の性科学セミナーは新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、2020年は開催せず。
- 2) 健やか親子21推進協議会
第20回健やか親子21推進協議会総会へ出席（2021年3月24日開催）
- 3) ICD制度協議会
2020年度 ICD申請者3名（2020年10月末日提出締切）
2021年度も10月末日提出締切とし、3名分の申請書類を受付
2020年12月6日 第349回ICD講習会（第33回学術大会終了後 同会場にて開催）
- 4) 全国公衆衛生関連学協会連絡協議会
2021年度第1回全公連総会への出席（2021年6月25日開催）
- 5) 日本思春期学会
日本思春期学会との連携対応
第40回日本思春期学会 総会・学術集会（会長：榊原 秀也）オンデマンド配信 2021年9月27日～10月3日
- 6) 日本エイズ学会
合同シンポジウムの開催（第34回日本エイズ学会学術集会・総会[Web開催]にて）
日 時：2020年11月27日～12月25日（オンデマンド配信）
テ ー マ：身近な性感染症とその治療薬
座 長：栗原 健（一般社団法人 日本病院薬剤師会）
演 者：西島 健（世界保健機関西太平洋地域事務局）
和田 耕一郎（岡山大学病院 泌尿器科）
水島 大輔（国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター）
大石 裕樹（国立病院機構九州センター 薬剤部・免疫感染症科・臨床研究センター）

※ 2021年は日本性感染症学会 第34回学術大会(Web)において合同シンポジウムを開催
※ 2022年は第36回日本エイズ学会学術集会・総会において合同シンポジウムを開催予定
- 7) 予防接種推進専門協議会
代表者会議および全体会議への出席

6. 各支部の活動

関東甲信越支部以外の7支部において、支部総会を開催。
各支部の事務局情報は学会ホームページ参照。

7. その他

- 1) 日本医学会
2021年7月26日 加盟申請書類提出。(審査の結果は2022年2月開催の日本医学会 定例評議委員会において判明予定)